



**扶助では補えない部分を補完
もう一人の家族が支援を行う**

森 多くの種類の福祉サービスを提供しているようですが。

新井 利用される人たちのニーズや、ご家族の要望に応えてサービスを増やして行った結果、今のように種類が増えたという感じです。

森 「もう一人の家族サービス(※)」というのがありますが、これはどういう内容のサービスなのか詳細を教えてください。

新井 例えば、障がいのある人たちの中で外出するのに介添えや介助が必要な人がいるとします。その人が「買い物に行きたい」とか「病院に行きたい」と希望すると、公的扶助制度を利用し

て介添人や介助者の支援を受けて外出することになります。でも、制度上、回数や時間に制限が設けられている場合もあって、自由に利用することができないんですね。そうなると、ご家族や周囲の人たちに介添えや介助をお願いせざるを得ない。「毎回家族に頼むのは気が引ける」と思う人などが、そもそも「家族がない」という人もいるわけです。そういう人たちのために私たちが「もう一人の家族」になって支援と援助を行うサービスです。

森 具体的な事例を教えてください。

新井 障がいがある人の中には、自身が「通院する」とか「買い物に出掛ける」ことだけで公的扶助制度で決められた介添えや介助の回数や時間を使い切ってしまう人も多いです。そうなると、親族などの冠婚葬祭の場にさえ自由に出掛けられない人もいます。そうした人たちが時間や場所(距離などを気にせずに出掛けたい)という場合に依頼してきます。

森 どこへでも同行するんですか?

新井 全国の観光地や名所、有名リゾート施設、スポーツ観戦、コンサート、釣りなど、例を挙げればきりがありません。

森 公的扶助を利用して介添人や介助者を伴つて旅行などには行けないですか?

新井 時間に上限が設けられている場合があるので、距離が近い所であっても「行けない」という事が多いためです。「旅行に行きたい」とか「遠くに



「もう一人の家族サービス」考案のきっかけを「全ての人に自由な外出を楽しんで欲しいと思った」と語る新井さん。寡黙な雰囲気ながら秘めた気持ちは熱い。



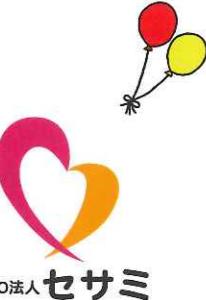
取材・文／森清香

先の参議院議員選挙で当選した重度の身体障がいのあるある議員2人が初当院したことを多くのメディアが取り上げましたが、同時に議員の付添人(介助者)らの存在にも注目が集まりました。彼らは、外出時に付添人や介助者を必要とする人も少なくありません。付添いや介助を依頼する場合、公的扶助制度を利用して利用回数や利用時間に上限が設けられています。

これらの課題を解決するためのニッチな福祉サービスを提供している事業所があります。「めざせ福祉のコンビニ」というユニークなキャッチフレーズを掲げるNPO法人セサミを取材しました。

**「人が人に囲まれて生きる
心豊かな社会の構築」を目指すNPO法人
「福祉のコンビニ」を目指すNPO法人**

NPO法人セサミ 群馬県館林市
(特定非営利活動法人セサミ)



（特定非営利活動法人セサミ）

新井 住んでいる旧友に会いたい」と思つても、時間や日数を気にして出掛けられない人もいます。そういう場合に私たちが同行して介添えや介助を行っています。

森 北海道にも同行したことがあるとお聞きしています。

新井 ある女性を摩周湖にお連れしたことがありました。その人にとって摩周湖がご家族との思い出の地だったらしく、以前から「もう一度行きたい」と考えていました。でも、自身に障がいがあることで摩周湖に行くのを諦めていたそうですね。ある時に私たちのサービスを知って「ぜひ」と同行を依頼されました。



セサミふれんずキッズではお子様のご利用も受け付けています。施設内は和やかで笑い声に溢れた印象だ。



NPO法人セサミ
セサミ

NPO法人セサミ
群馬県館林市西本町7-21
TEL / 0276-74-1331
<http://sesame.or.jp/>



取材&文／森清香

02年に任意団体としてスタートし、最初は障がいのある人の「一時預かり（サービス）」から始めたというセサミ。

同年に群馬県の認証を、07年には内閣府の認証を受け、特定非営利活動（NPO）法人として運営されています。

新井さんは現在の多様なサービスラインナップを「ニーズに合わせて増やしていくだけ」と言いますが、サービスを増やすためには施設を拡充し、職員を増員し、さらにサービスの質も改善し続けるなど多くの努力が求められたはずです。これからも他にはないサービスを考案して、障がいのある人たちの社会参加をサポートし続けて欲しいと思います。

新井「コンビニ」とは「コンビニエンスなストア」つまり「便利な店」ということですよね。皆さんのが街の中にあるコンビニを利用する時のように、「便利に」「いつでも自由に」、そして「誰でも」「気軽に」私たちが提供する各種の福祉サービスを利用してくださいという意味を込めています。

新井 「障がいがあるから」「介添えや介助をお願

いしなければ外に出られないから」と外出を諦めてしまう人が大勢います。その人たちに「自由に外出を楽しんで欲しい」という気持ちからこのサービスを始めました。

森 サービスを利用した人の中には「30年ぶり

に外出した」という人もいたそうですが。

新井 外出する機会が無かつたというだけでは

なくて、「外に連れ出してくれる人がいなかつた」ということらしいです。

森 たった数年でも街の様子は変わってしまう

のに、30年といつと「隔世の感」どころではなくて

別の国に来たような感じでしそうね。

新井 「目に入るものが新鮮だった」と言つて

いました。最初は街並みを見て驚くような素ぶり

もあつたのですが、時間が経つにつれて嬉しそう

な顔になつていったのが印象的でした。

森 サービスを提供する側としても喜ばしい

瞬間だったと思います。現在、どれくらいの人たち

が利用していますか？

新井 利用登録をしている人たちだけでも20名

前後ですね。もっと多くの人にサービスの詳細を

知つてもうつて、外出する時にどんどんと利用し

て貰えれば良いと思っています。

森 最後になりますが、NPO法人セサミが掲

げる「めざせ福祉のコンビニ」というキャッチフ

レーズの意味を教えてください。

新井 「コンビニ」とは「コンビニエンスなスト

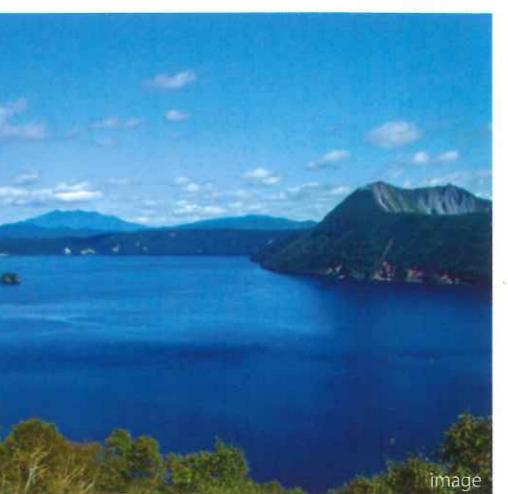
ア」、つまり「便利な店」ということですよね。皆

さんが街の中にあるコンビニを利用する時

のように、「便利に」「いつでも自由に」、そして「誰

でも」「気軽に」私たちが提供する各種の福祉

サービスを利用してくださいという意味を込めています。



晴れた日の摩周湖。
image

森 北海道はさすがに遠いですね。

新井 でも、希望は出来るだけ叶えてあげたいと思つんです。依頼されれば海外にだってお連れしますよ。何より、皆さんのが嬉しい顔を見られるのが私たちの喜びでもありますから。北海道の例だと、「霧の摩周湖」なんて呼ばれているくらいで、霧が晴れて摩周湖が見渡せるのは年に3分の1の日数も無いそつなんですね。でも、その女性が以前に行つた時には霧が掛かっていなかつたそうで、「私が行つたら絶対に(霧が)晴れると思

衣食住は足りるが移動は不足誰でも自由に外出して欲しい

森 北海道はさすがに遠いですね。

新井 でも、希望は出来るだけ叶えてあげたいと思つんです。依頼されれば海外にだってお連れしますよ。何より、皆さんのが嬉しい顔を見られるのが私たちの喜びでもありますから。北海道の例だと、「霧の摩周湖」なんて呼ばれているくらいで、霧が晴れて摩周湖が見渡せるのは年に3分の1の日数も無いそつなんですね。でも、その女性が以前に行つた時には霧が掛かっていなかつたそうで、「私が行つたら絶対に(霧が)晴れると思

衣食住は足りるが移動は不足誰でも自由に外出して欲しい